



● 校長先生の話

吉岡中では昨年10月に全生徒にタブレット端末がいち早く整備され、各教科等での活用が始まりました。今年度は町の進める「HiBALIプラン2.0」のもと、ICT活用促進を校内研修に位置付けて、組織的計画的に取り組んでいます。推進にあたっては、研修推進委員会とICT推進部会が両輪となるとともに、町のICT支援員や県の教育DX推進スタッフが専門的な支援をする体制となっています。

ICTの利点を生かした効果的な実践例を紹介します。

校内研修の様子をお伝えします！

「Google Jamboardを使いながら1人1台端末の活用方法を考えよう！」

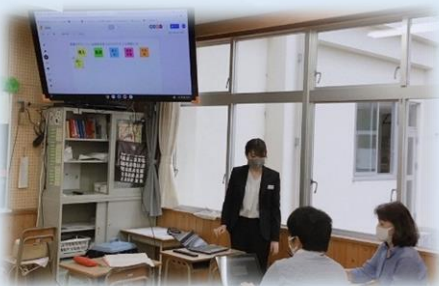
【研修の流れ】

- ①タブレットを持参し、4つの教室に分かれる
A教室：国語班、数学班 B教室：理科班、英語班 等
- ②Google Jamboardの使い方の説明を聞く
- ③テーマ「授業の中で生徒1人1台端末を取り入れられそうな場面とは」テーマに対しての考えを各自、Google Jamboardにまとめる。
- ④教科ごとに意見をまとめる
- ⑤各教室をGoogle Meetでつなぎ、画面を共有しながら発表を聞く。

Google Jamboard

オンライン上で共同で情報共有したり、分類したり、「みんなで編集できるデジタルなホワイトボード」です。手書き文字で意見交換したり、画像を貼り付け説明したり、付箋を使ってグルーピングしたりできます。

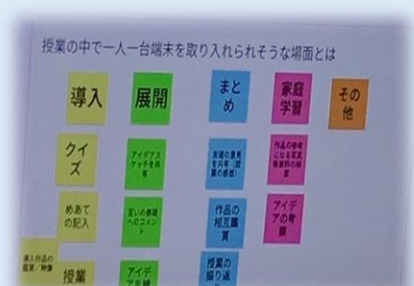
Wordで作ったものを貼り付けることはできるかな？



ICT推進部が中心になってGoogle Jamboardの使い方を説明しています



Google Jamboardの操作をいろいろ試しています



「導入」「展開」「まとめ」「家庭学習」に分けて活用方法を考えました

初めてGoogle Jamboardを使った先生方が多く、初めは戸惑う様子が見られましたが、対話しながら様々な操作を試していく内に、「化学反応式の学習の時に活用できそうだね。」「学習のまとめの時に使えそうだ。」など、授業作りに関わるアイデアが活発に出されました。新しいソフトウェアに触れながら、1人1台端末の活用方法を探るといって、一挙両得の研修推進部のアイデアあふれる研修となりました。